



地域のスポーツ大会にて



前原駅周辺の清掃活動に参加

にえだ元氣からのお願い

福岡3区にお住まいの方

(福岡市西区、早良区、城南区(七隈・梅林投票区)、糸島市)

福岡3区に在住で、にえだ元氣の考えや政策にご賛同いただける方、にえだ元氣を応援して下さる方、ご連絡いただいた方には、本人がご意見・ご要望をお聞きます。

必要事項をご記入の上、FAX: 092-407-3592 までお送り下さい

E-mail や お電話でも受け付けています。



氏名(ふりがな)

ご住所(〒 -)

電話

FAX

E-mail

立憲民主党 にえだ元氣事務所 福岡県第3区総支部
〒819-0167 福岡市西区今宿1-8-4 いにしえ今宿駅前1階
TEL:092-407-3591 / FAX:092-407-3592
E-Mail: genki.iikuni.japan@gmail.com
ホームページ: <http://www.nieda-genki.net/>



国政へ再挑戦!!



情報はコチラから



衆議院福岡県第3区総支部長
元福岡県議会副議長

にえだ元氣

【プロフィール】 1979年 福岡県生まれ(45歳)

2003年 日本大学 法学部 卒業

2003年 神戸製鋼所 入社

2009年 (公財)松下政経塾(松下幸之助氏が設立した人材養成機関)

衆議院議員(元内閣総理大臣)秘書

2011年 福岡県議会議員(4期)

2021年 第84代福岡県議会副議長

現在 立憲民主党 福岡県総支部連合会 幹事長

妻・娘6歳・愛犬
子育て奮闘中!

趣味: カラオケ, 食べ歩き

「コメがない」時代に備える

令和7年6月、政府は備蓄米の一部を5kgあたり2000円で店頭販売を始めました。確かに、物価が高騰する中で、コメが安く買えるのは歓迎すべきことかもしれませんが。

しかしながら、課題は依然として残されています。

まず、制度の透明性が低いという点です。備蓄米の在庫量や放出の判断基準が明確に示されておりません。備蓄米は、税金で買い入れた国民の財産です。ところが今、売られているのは大手スーパーがある都市部ばかり。流通体制も脆弱で、袋詰めも精米も配送も間に合っていない。これから地方への供給を拡大するために大手コンビニを活用するようですが、思い付きの見切り発車ではなく、生産者と地域に根差したJAと連携して、備蓄米の在庫量や放出基準を示していくべきだと考えています。

もう一つは、農業の持続可能性を担保するために、「直接支払い制度」を導入すべきです。農家が国内需要を超える生産をすると、増産に伴い米価が下落し、農家の皆さんの収入が減少する可能性があります。その場合、主食用米を

一 備蓄米の制度改革と生活者支援を一

生産する農家が農業を継続できる基礎所得を保証する事により生産者を支援し、持続可能な農政を実現すべきと考えます。

……備蓄米問題に対して2つ提案……

備蓄米は現在子ども食堂に無償提供されていますが、無償で届けられる範囲を拡大すべきです。

①は学校給食向けです。4月から学校給食用の米価も大幅に上がりました。これ以上保護者負担を増やせません。学校経営上も困っています。②は病院食向けです。病院の食事の価格は法律で決まっています。あらゆる食材を安価にしても赤字になります。赤字経営で苦しむ病院は病院食で苦勞しています。

私たちの食卓を支えるお米 にもかかわらず、「あるのに届かない」「作っても報われない」——そうした矛盾を放置してきた責任は政治にあります。

農業と生活を両立させ、すべての人が安心してお米を手に入れられる社会を実現するため、今後も制度改革に全力で取り組んでまいります。